



参議院議員

参議院比例区第1総支部長

平戸 航太

本年も皆様の声を国政に届け、政策実現に取り組めます

昨年12月に発生した青森県東方沖を震源地とする地震をはじめこの間発生した災害により被災された皆さまに心からお見舞いを申し上げます。一日も早い復旧・復興を心より祈念申し上げます。

昨年の参議院選挙では皆様から多くのご支持をいただき、国政の場に立つことができました。現在、予算・国交・デジタルAI特別委員会に所属し、党内ではエネルギー・経済・安全保障の各調査会で政策立案に努めています。昨年秋の臨時国会では、党としてガソリン減税の実現や年少扶養控除復活法案の提出など「手取りを増やす政策」を推進しました。本年も引き続き皆様の声を国政に届け、政策実現に向けて全力で取り組んでまいります。

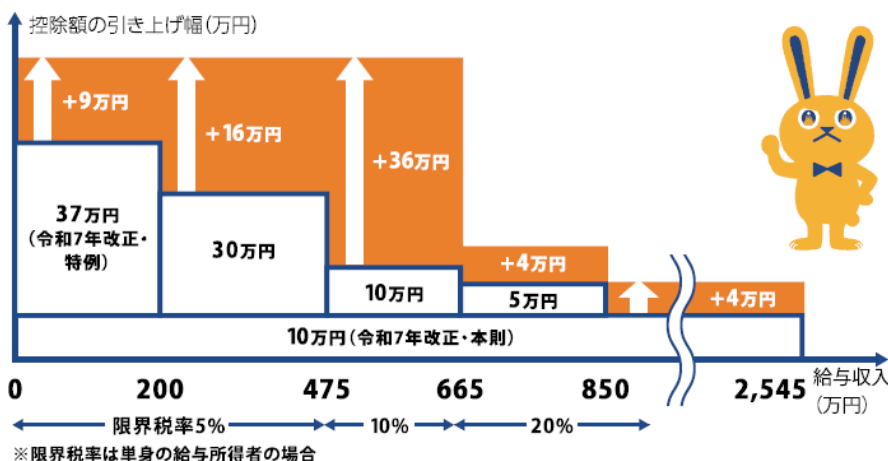


平戸航太公式HP

「年収の壁」、178万円に引き上げへ

2025年12月18日、国民民主党の玉木代表は高市総理と党首会談を行い、年収665万円までの方について「年収の壁」を178万円に引き上げることで合意しました。また、今回の合意には「高校生の扶養控除の維持」「即時償却・税額控除に加えて繰越控除を認める大胆な設備投資減税の導入」など、国民民主党の主張する政策が多く盛り込まれました。引き続き、働く仲間の声を国政に届け、政策実現に取り組めます。

「年収の壁」引き上げ、今回の合意内容



平戸航太プロフィール

●1987年7月生まれ(38歳) ●長崎県伊王島出身 ●2児の父 ●九州大学大学院修了 ●(株)日立製作所で設計者として勤務 ●こくみん政治塾第1期生 ●参議院議員(全国比例区・1期)

所属委員会

●予算委員会 ●国土交通委員会 ●デジタル社会の形成及び人工知能の活用等に関する特別委員会

党役職

●エネルギー調査会事務局次長 ●国会対策委員会副委員長 ●選挙対策委員会事務局次長 ●経済調査会事務局次長

SNSで日々の活動発信中!



#メイドインジャパンを増やす

～AI・デジタルに係る国家戦略を特命担当大臣と議論～

2025年11月28日、第219回国会における「デジタル社会の形成及び人工知能の活用等に関する特別委員会」で質疑に立ち、小野田内閣特命担当大臣、今枝デジタル副大臣にAI・デジタル分野の国家戦略に対する課題認識を提起しました。引き続き皆様からの声を国政に届け、「#メイドインジャパンを増やす」をはじめとする政策の実現に取り組めます。

当日の質疑の
様子はこちら



(参議院インターネット審議中継)

AI稼働に不可欠なデータセンターの基盤強化

海外のテック企業は数百兆円規模の投資を進めている一方、日本では2035年に最大45兆円の「デジタル赤字」が試算されており、国際競争力の格差拡大が懸念されています。国産AIの重要性が高まる一方、AIや半導体を自前で持てない構造的課題が顕在化し、信頼できる国内基盤の整備が急務となっています。こうした課題認識をふまえ政府の見解を質しました。



答弁する小野田内閣特命担当大臣

基幹部品について開発力を強化していくことも非常に重要。AI基本計画に盛り込むべく、議論を進めていく。



政府見解を質す「平戸航太」

国産AIを開発してもデータセンターが海外製であれば安全保障の観点から課題が残る。基幹部品には日本製を使用し、政府としてもその開発を支援する旨を、策定中の基本計画に盛り込み願いたい。

データ利活用のさらなる推進

【現状・課題認識】 データは幅広い分野で基盤となり、現代社会を支える重要な資源。日本は法的位置づけが不明確で国際的なルール形成に遅れを取っている。顔認証データの利用は制度的に不透明で、法的リスク回避のため活用が控えられるケースもある。

【平戸航太】 データは保護と利活用のバランスが非常に重要。リスクベースで用途別に対応できる制度整備を進め、利活用を推進していくべき。

【政府参考人】 諸外国の取り組みを参考にしつつ、我が国の実態に即した制度整備に向けて、保護と利活用のバランスを考慮しながら制度づくりを進めていく。

自動運転の社会実装加速に向けて

【現状・課題認識】 2025年度50カ所、27年度100カ所以上との目標に対し現状9件と遅れが目立つ。海外では自動運転機能やユーザー体験を大規模かつ迅速に進化させ、日本とは対照的。安全を前提に制度・技術両面で社会実装を加速する必要がある。

【平戸航太】 自動車産業は世界を牽引する日本の産業。諸外国に遅れをとらないよう、政府が旗振りをして社会実装を加速していくべき。

【今枝デジタル副大臣】 自動運転事業化の加速のために、先行的に事業化に取り組む地域を10カ所選定し、関係府省庁の支援策を集中的に投入し、一気に加速していく。

一緒に「新しい答え」をつくっていただける党员・サポーターを募集しています。お申し込みはこちらのQRコードから。

